

2009年3月号

ほくし

発行所

社団法人 大阪北区歯科医師会

大阪市北区南森町1丁目4番28号

プールパール南森町205号室

TEL(06)6363-0016 FAX(06)6363-0046

一月十三日(火)、帝国ホテル大阪五階八重の間に於いて、平成二十一年新年互礼会が、関係官公署および団体代表、議員の来賓を招き、七六名が出席し開催された。大塚専務理事が司会を務め、東郷副会長の開会のことばで始まった。



黒川会長は新年の賀詞と参会への謝辞を述べた。そして、ホームページの反響、特に市民から好評を得ていることや、未入会者への取り組み、新人会員の増加など、会務全般の報告と協力への感謝、また今年の活動への思いが力強く述べられた。(前

平成21年 新年互礼会開催

帝国ホテル大阪
五階・八重の間

H21.1.13



号の年頭所感を参照) 続いて、岡邦恭大阪府歯科医師会会長にご挨拶をいただいた。 賀本庶務理事による来賓各位の紹介の後、横山隆文北区長、天津弘二北区保健福祉センター医務保健長、末澤慶昭大阪北区医師会会長、中山泰秀衆議院議員秘書、田中ゆたか大阪市長、荒起秀多北区薬剤師会会長の音頭で乾杯して懇親会に移った。 昨今の厳しい社会情勢の中ではあるが、多くの会員が来賓や会員相互と和やかに交流し楽しく時が流れていた。

(順不同敬称略) 岡邦恭(府歯会長) 古川壽男(府歯専務理事) 天羽隆(府歯理事) 加藤隆正(府歯連盟理事長) 水沼和夫(府歯連盟常務理事) 橋本收(府歯国保専務理事) 中山泰秀(衆議院議員) 久谷真敬(大阪府会議員) 田中ゆたか(大阪市会議員) 小玉隆子(大阪市会議員) 美延映夫(大阪市会議員) 横山隆文(大阪北区長) 天津弘二(北区保健福祉センター医務保健長) 千福好伸(北消防署長) 末澤慶昭(大阪北区医師会会長) 荒起秀多(北区北薬剤師会会長) 小谷和弘(大阪府歯科技工士会専務理事) 永井のみこ(大阪府歯科衛生士会会長) (総務部・佐々木裕記)



瞬く間に夜が更け、高麗副会長の閉会のことばで開きとなった。尚、来賓各位は次の通りであった。

パノラマ

所得が上らない中で物価高が家計を厳しく圧迫する中、昨年十月に麻生内閣の追加経済支援対策の柱として二兆円を限度として発表された定額給付金の法案がようやく成立し実施される。一月に行われた朝日新聞の調査では「やめたほうが良い」が六三％に達し、「政府の方針どおり配った方がよい」の二八％を大きく上回った。読売新聞の調査結果に至っては支給を取りやめて、雇用や社会保障などに、ほかの目的に使うべきだが七八％にのぼっている。八割近い国民が反対しているわけだ。しかし、「支給されたら貰うか」という質問に対しては、九割の人が貰うと答えている。自分の財布が苦しくてしかたないが、先行きを考えて社会保障の切り捨てを中止したり、雇用を安定させて安心できる暮らしを取り戻したいという声が多い。需要があれば生産が増えず雇用を生みださないと言われている。しかし、今は、誰もが不安でお金が使えない。国民がお金を手にして安心して使えるようにしないといけないのである。是非ともあつと驚かして、二挙に気分が変わるような大胆な政策を打ち出してほしいものである。(A)

— 学術講演会 — 「審美修復を成功させるためには」

H21
2.4

二月四日(水)、北區民センターにおいて今年度第二回学術講演会が開催された。今回は会員発表として十二班の六人部慶彦先生が『審美修復を成功させるためには』というテーマでオールセラミック修復やコンポジットレジン充填など審美修復に関する講演をされた。

ヨナルレストレーションの形態を印象して技工士に情報を渡していると解説された。

支台歯形成については氏の開発したプレパレーションパーセプトを用い唇側の最下点をスターティングポイントにして引くような動作でバーを動かすようにするほうがよいなど細かい注意点を述べられた。特にCAD/CAM修復の場合は製作上の特性を考えて切縁に1ミリの厚みをもたせ、また切縁隅角にも丸みを持たせる形成が望ましいと解説された。

まずオールセラミッククラウンの特徴として光の透過性が天然歯に近似しており審美修復に有利であると述べた後、審美性の長期的予後を左右する因子として①前処置、②プロビジョナルレストレーション、③支台歯形成、④フィニッシュラインの設定位置、⑤歯周組織に調和したクラウンカントウアー、⑥セメンテーション、⑦歯間乳頭の七項目を挙げそれぞれについて解説された。

プロビジョナルレストレーションについては、その前の診断用ワックスアップの段階から、患者の意向を具現化する意味でドクター自らがワックスアップするべきであるとし、硬質レジン(ソリデックス)を用い口腔内で調整したプロビジ



歯間乳頭については天然歯に見られる唇側近心の歯頸部の陥凹を修復歯でも模

税務申告説明会開催

H21.2.10

二月一日(火)、午後六時より「ガーデンシティクラブ大阪」において税務説明会が開催されました。

大西秀威理事の司会で黒川会長の挨拶で始まり、北税務署の平松繁和副署長の挨拶の後、平松副署長と個人課税第一部門 角谷禎彦統括国税調査官により、正しい申告のための決算書の見方、平成二〇年所得税の改正、e-Taxなどについて説明していただきました。

最後に東郷副会長の閉会の挨拶にて説明会を終了しました。参加者は二五名でした。

(医療管理部・中川晴彦記)

倣し、歯間乳頭を両側から押して上げるブラジャーテクニックについて解説された。

最後にコンポジットレジンによるダイレクトベニア修復例では天然歯と全く区別のつかないすばらしい治療結果が示された。このような結果を得るには根気、観察力、トレーニングが欠かせないことを強調され、

日頃からHowでなくWhyの態度で臨床に向かうべきであるとして講演を終えられた。(学術部・南昌宏記)

医療保険ゼミナール開催

H21
2.20

二月二〇日(金)、北區歯科医師会事務所において医療保険ゼミナールが開催され、一八名の先生方のご参加を頂きました。講師に天羽隆国保審査委員をお迎えし、

保険請求における注意点を解説していただきました。

冒頭、黒川会長が挨拶し、レセプトオンライン化への対応等について述べた。続いて講師により最近の疑義

医療管理講演会

H21
2.27

二月二七日(金)、午後七時三〇分より北區民センターにおいて医療管理講演会が開催されました。

講師として大阪府警曽根崎署刑事課暴力犯係 井龍靖紀警部補をお招きし、「クレーマー、脅し、嫌がらせ、ゆすり、たかり、対策クレーマー、あなたはどうか対応しますか?」と題してご講演いただきました。

暴力団をはじめ悪質クレマー等の反社会的勢力からの不当な要求に対応するため、歯科医院として心得ておきたい事項には三つの柱があり、①平素の準備

②対応の心構え ③具体的



また、大阪府下特に北區の暴力団の動向や振り込め詐欺についても説明していただきました。

出席者は三九名でした。(医療管理部・大西秀威記)

12班・芦田 克仁
(大歯大・平成13年卒)



(診) 毎日芦田デンタルクリニック
梅田三ー四ー五
毎日インテシオ4F
電 六四五〇ー一八八八
F 六四五〇ー一八八九

16班・中野 良益
(鹿児島大・平成19年卒)



(診) なかの歯科医院
池田町二六ー六レジナル
アッシュ天神橋〇三号
電 六八八一ー六八〇〇
F 六八八一ー六八〇〇

編集後記

今任期最後のほくし発行となりました。
ご協力いただきました先生方ありがとうございました。
(広報部一同)